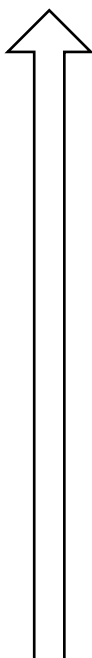


学校経営アクションプラン「知」に関する目標

- ・生徒同士の認め合いを大切にした授業づくり
（『聴く・考える・伝える』）



学校全体で行う今後の取組（案）

<授業改善>

- ・発問を工夫し、授業の振り返りとともに自分の意見を「伝える」授業を展開する。
- ・ギミックブラッシュアップシートで授業を組み立てる。
- ・相互授業参観を行い、授業参観シートを活用する。
- ・全員参加の公開授業を実施し、事例の共有と改善を図る。

<家庭学習>

- ・家庭学習の取り組み方についてモデルを作り配付する。
- ・学期ごとに全教科提出率100%生徒を表彰する。
- ・自主学習の取組を定着させる。

<その他>

- ・タブレットを持ち帰らせ、主体的に活用させる。

令和5年度全国学力・学習状況調査から

結果分析（○強み ●弱み）

【国語】

- 基本的な問題の正答率が高い。
- 書かれた具体的な内容を見出しに抽象化する作業ができていなかった。文章で答える記述問題も、クラスの半数近い生徒ができていなかった。

【数学】

- 基礎的な計算の正解者が多い。
- 言葉の定義など、意味をきちんと把握できていない。説明する問いで、どう答えていかわからず無回答が多い。

【英語】

- 日常的な内容についての読む力・聞く力はある。特に事実に基づいた正しい考えを選択する力はある。
- 自分の考えや意見を伝えたり、学校行事について紹介するなど、自由に記述することが非常に厳しい。書き換えるなどの技術を身につけさせたい。

【学習状況調査より】

- 約3割の生徒が普段2時間以上家庭学習に取り組んでいる。
- 約7割の生徒が図書室にほとんど、または全く行かない。（読書の習慣がない）